



MIYAZAKI

中央会だより | 12

December 2023
No.738

■ CONTENTS

- 特集 ······ [P1]
令和5年度中小企業労働事情実態調査
報告【概要:宮崎版】
- インフォメーション ······ [P5]
- レポート ······ [P7]
- ほっとひと息 ······ [P10]
- 情報連絡員報告 ······ [P11]
令和5年10月期



ともに考え ともに動く 連携組織のパートナー
宮崎県中小企業団体中央会



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

令和5年度中小企業労働事情実態調査報告【概要:宮崎版】

宮崎県中央会では、県内中小企業の労働事情を的確に把握し、効果的な中小企業労働対策の策定及び時宜を得た雇用・労働対策事業の推進を図るため、会員組合の皆様の御協力のもと、県内600事業所を対象に「中小企業労働事情実態調査」を実施しました。その調査結果の概要を報告します。

■調査時点 令和5年7月1日
■有効回答数 355(回答率59.2%)

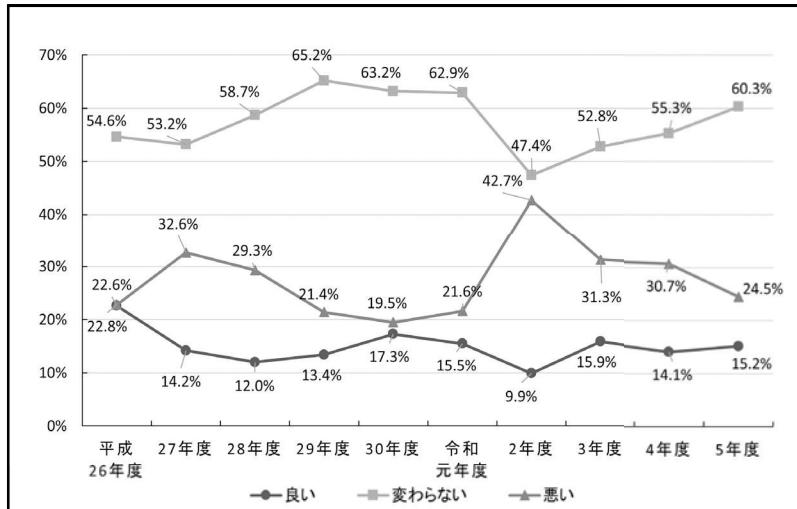
従業員数	1~9人	10~29人	30~99人	100~300人	合計事業所数
製造業	35	56	17	8	116
非製造業	119	72	35	13	239
合計	154	128	52	21	355
構成比率	43.4%	36.1%	14.6%	5.9%	100.0%

1 経営について

(1) 経営状況(過去10年 県内)

現在の経営状況を「良い」と回答した事業所は15.2%で、前年度の14.1%と比べて1.1ポイント増加、「変わらない」と回答した事業所は60.3%で、前年度の55.3%と比べて5.0ポイント増加している。

「悪い」と回答した事業所は24.5%で、前年度の30.7%と比べて6.2ポイント減少している。



(2) 業種別の経営状況

製造業では「良い」が最も高い業種は『印刷・同関連業』の33.3%、次いで『その他』の25.0%、『金属・同製品』の22.7%となっている。「悪い」が最も高い業種は『食料品』の50.0%、次いで『木材・木製品』の42.9%、『金属・同製品』の31.8%となっている。

非製造業では「良い」が最も高い業種は『サービス業』の25.6%、次いで『卸売業』の20.0%、『建設業』の15.8%となっている。「悪い」が最も高い業種は『運輸業』の52.6%、次いで『卸売業』の50.0%、『小売業』の26.7%となっている。

	事業所数	良い	変わらない	悪い
全 国	18,139	20.1%	50.5%	29.4%
宮 崎 県	355	15.2%	60.3%	24.5%
製 造 業	食料品	16	12.5%	37.5%
	織維工業	-	-	-
	木材・木製品	35	5.7%	51.4%
	印刷・同関連業	6	33.3%	50.0%
	窯業・土石製品	31	9.7%	74.2%
	金属・同製品	22	22.7%	45.5%
	機械器具	2	-	100.0%
	その他	4	25.0%	50.0%
非 製 造 業	小 計	116	12.9%	55.2%
	情報通信業	-	-	-
	運輸業	19	-	47.4%
	建設業	152	15.8%	66.4%
	卸売業	10	20.0%	30.0%
	小売業	15	13.3%	60.0%
	サービス業	43	25.6%	65.1%
	小 計	239	16.3%	62.8%

図2 業種別の経営状況

2 原材料費、人件費アップ等に対する販売価格への転嫁について

(1) 価格転嫁の状況(全国比較)

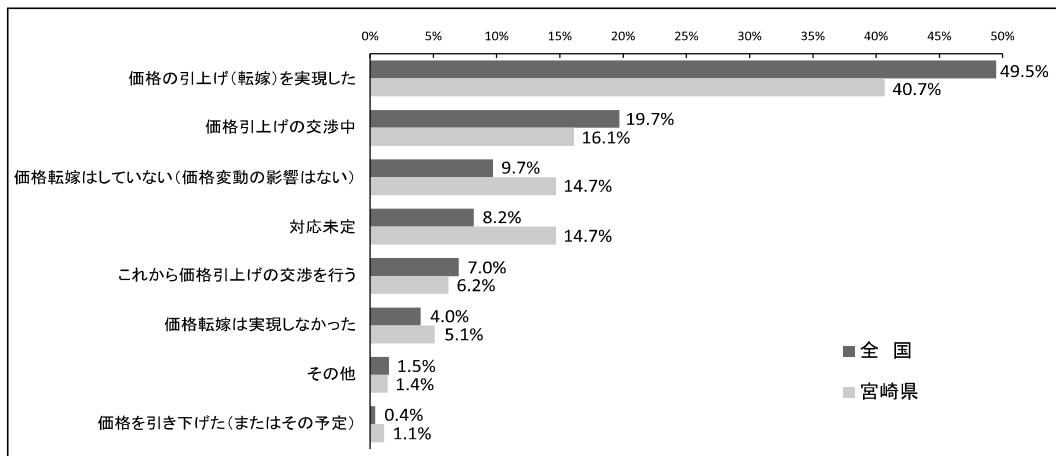


図3 価格転嫁の状況(全国比較)

全国、本県ともに「価格引上げ(転嫁)を実現した」が最も高い(全国49.5%、本県40.7%)。次いで「価格引上げの交渉中」(全国19.7%、本県16.1%)、「価格転嫁はしていない(価格変動の影響はない)」(全国9.7%、本県14.7%)となっている。

(2) 価格転嫁の内容(全国比較)

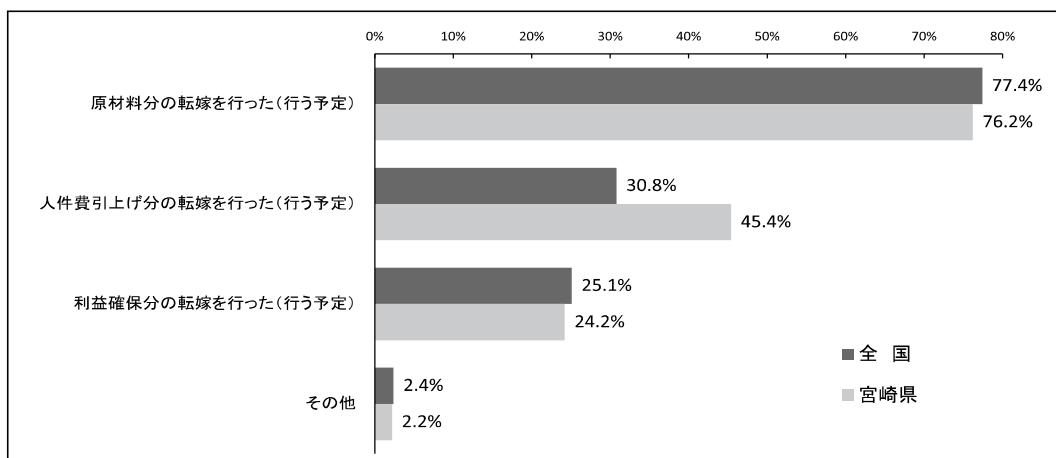


図4 価格転嫁の内容(全国比較)

全国、本県ともに「原材料分の転嫁を行った(行う予定)」が最も高い(全国77.4%、本県76.2%)。次いで「人件費引上げ分の転嫁を行った(行う予定)」(全国30.8%、本県45.4%)、「利益確保分の転嫁を行った(行う予定)」(全国25.1%、本県24.2%)となっている。

(3) 1年前からの価格引上げ状況(全国比較)

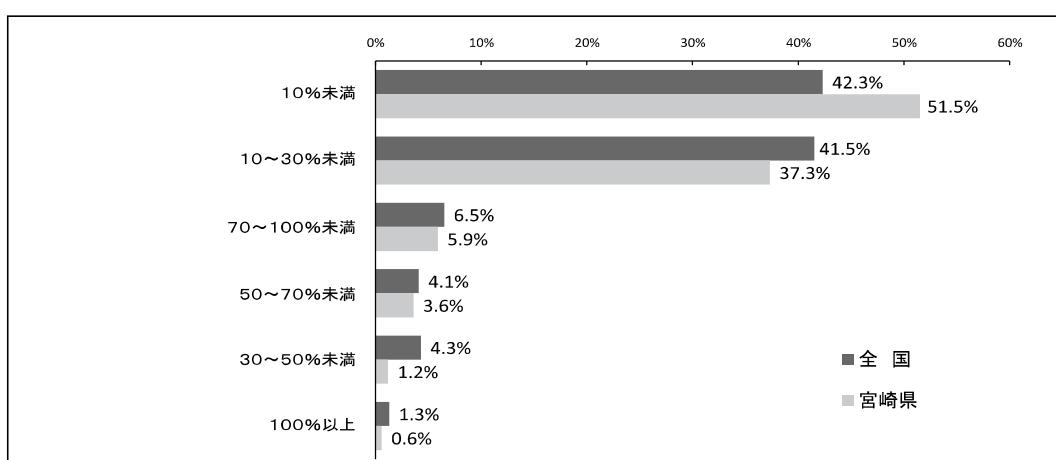


図5 1年前からの価格引上げ状況(全国比較)

全国、本県ともに「10%未満」が最も高い(全国42.3%、本県51.5%)。次いで「10~30%未満」(全国41.5%、本県37.3%)、「70~100%未満」(全国6.5%、本県5.9%)となっている。

3 経営上の強みと障害について

(1) 経営上の強み(全国比較)

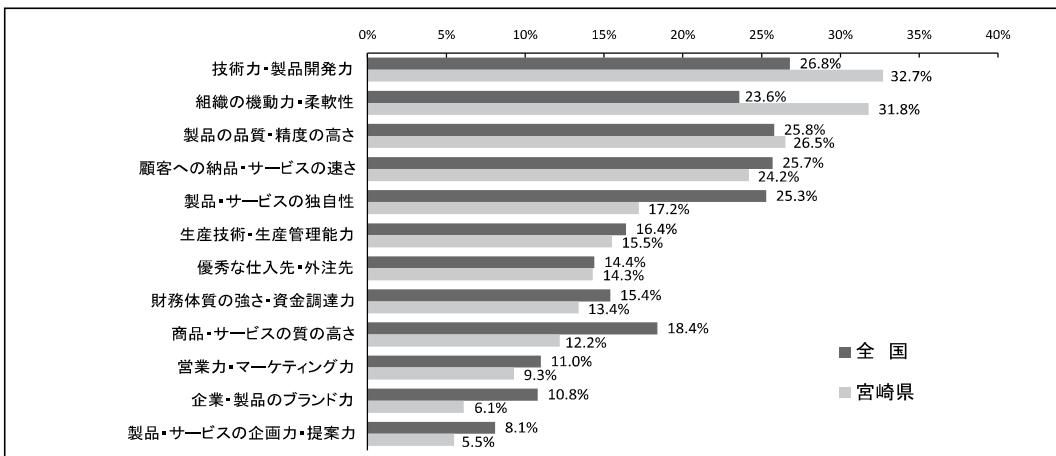


図6 経営上の強み(全国比較)

全国では「技術力・製品開発力」が26.8%と最も高く、次いで「製品の品質・精度の高さ」の25.8%、「顧客への納品・サービスの速さ」の25.7%となっているのに対し、本県では「技術力・製品開発力」が32.7%と最も高く、次いで「組織の機動力・柔軟性」の31.8%、「製品の品質・精度の高さ」の26.5%となっている。

(2) 経営上の障害(全国比較)

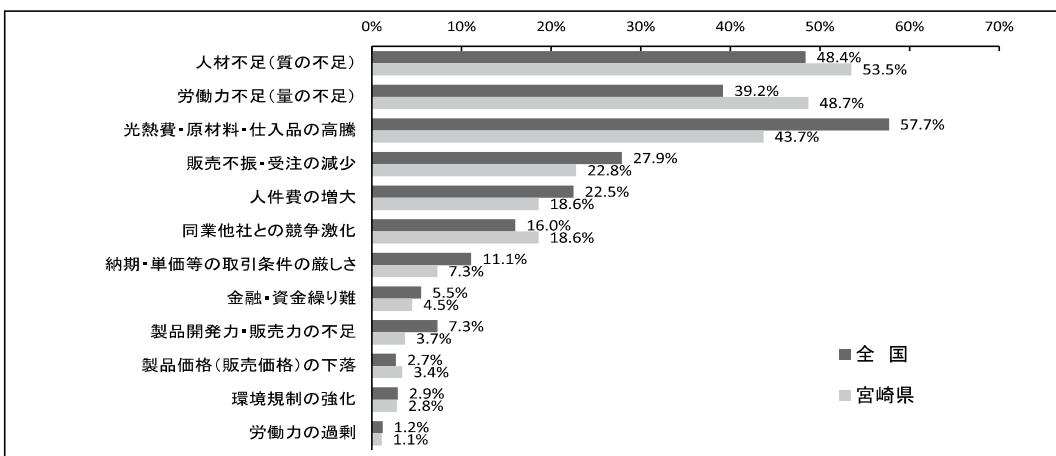


図7 経営上の障害(全国比較)

全国では「光熱費・原材料・仕入品の高騰」が57.7%と最も高く、次いで「人材不足(質の不足)」の48.4%、「労働力不足(量の不足)」の39.2%となっているのに対し、本県では「人材不足(質の不足)」が53.5%と最も高く、次いで「労働力不足(量の不足)」の48.7%、「光熱費・原材料・仕入品の高騰」の43.7%となっている。

4 新規学卒者の採用について

(1) 令和5年3月新規学卒者の採用(県内)

令和5年3月新規学卒者の採用について「採用計画をし、実際に採用した」と回答した事業者は11.3%、「採用計画をしたが、採用しなかった」と回答した事業者は11.0%、「採用計画を行わなかった」と回答した事業者は77.7%となっている。

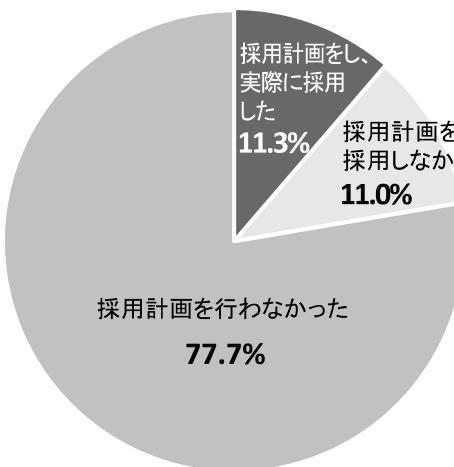
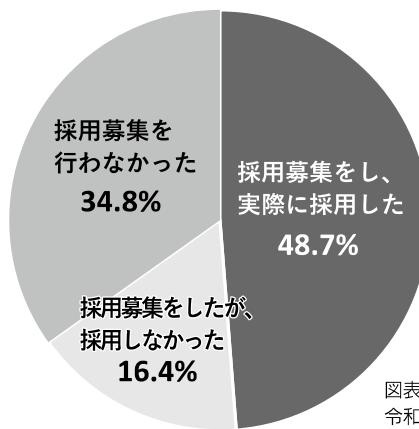


図8 令和5年3月新規学卒者の採用計画と採用(県内)

5 中途採用について

(1) 令和4年度の中途採用者の募集と採用(県内)

令和4年度に中途採用者の「採用募集をした」と回答した事業者は 65.1%、そのうち、「採用募集をし、実際に採用した」と回答した事業者は 48.7%、「採用募集を行わなかった」と回答した事業所は 34.8%となっている。

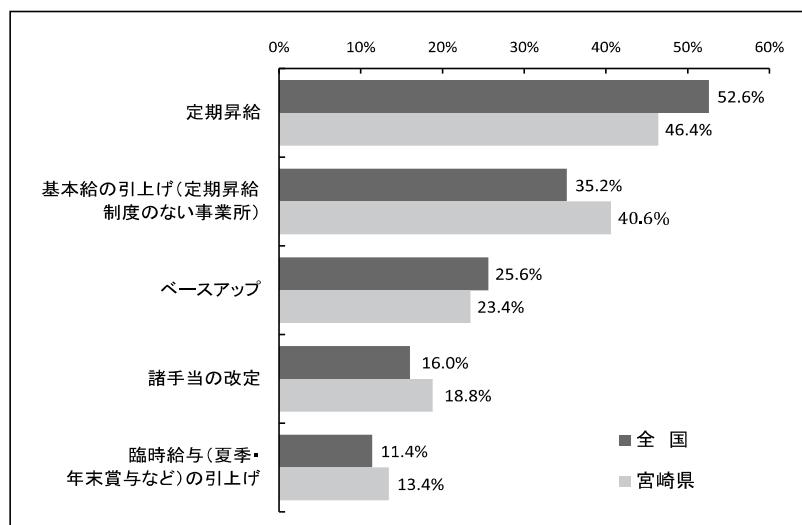


図表9
令和4年度の中途採用者の募集と採用(県内)

6 賃金改定について

(1) 賃金改定の内容(全国比較)

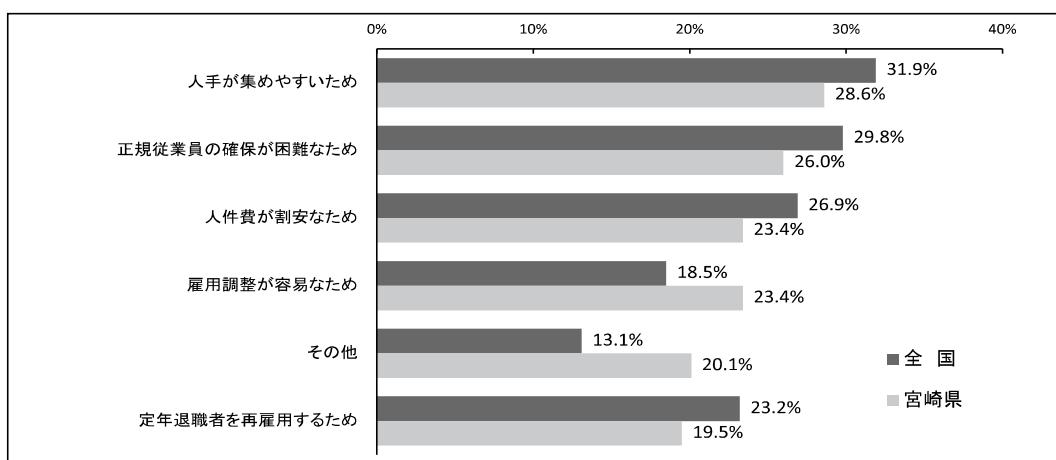
賃金改定の内容については、全国、本県ともに「定期昇給」が最も高く(全国 52.6%、本県 46.4%)、次いで「基本給の引上げ(定期昇給制度のない事業所)」(全国 35.2%、本県 40.6%)、「ベースアップ」(全国 25.6%、本県 23.4%)となっている。



図表10 賃金改定の内容(全国比較)

7 パートタイマーについて

(1) パートタイマーを採用した理由(全国比較)



図表11 パートタイマーを採用した理由(全国比較)

パートタイマーを雇用している事業所で、パートタイマーを採用した理由は、全国、本県ともに「人手が集めやすいため」が最も高く(全国 31.9%、本県 28.6%)、次いで「正規従業員の確保が困難なため」(全国 29.8%、本県 26.0%)、「人件費が割安なため」(全国 26.9%、本県 23.4%)となっている。

上記を含む調査結果につきましては、『令和5年度労働事情実態調査報告書』として取り纏め、県内の中小企業組合、関係団体に配布しました。(本会HPにも掲載しております。)

「年収の壁」への対応について

「年収の壁」とは

- ・会社員の配偶者などで、パートやアルバイトをされている方は、年収106万円や130万円など一定以上の収入になると、社会保険料を支払う必要が発生します。
- ・そのため、手取り収入が減ることを避けるため、働きたいのに一定の水準以上は働くことを控える、それが「年収の壁」と言われるものです。

「年収の壁・支援強化パッケージ」とは

「106万円の壁」対応

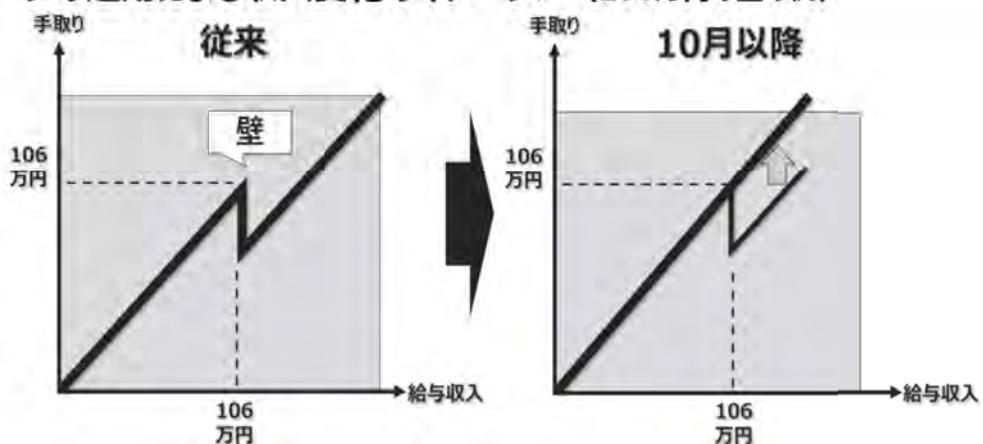
パート・アルバイトで働く方の、厚生年金や健康保険の加入に併せて、手取り収入を減らさない取組^(※)を実施する企業に対し、労働者1人当たり最大50万円の支援をします。

(※) ·社会保険適用促進手当を支給
(社会保険料の算定対象外)
·賃上げによる基本給の増額
·所定労働時間の延長

「130万円の壁」対応

パート・アルバイトで働く方が、繁忙期に労働時間を延ばすなどにより、収入が一時的に上がったとしても、事業主がその旨を証明することで、引き続き被扶養者認定が可能となる仕組みを作ります。

<パッケージの適用による収入変化のイメージ> (106万円の壁の例)



ご不明な点があるときは

- ・「年収の壁突破・総合相談窓口」にご相談ください。
(電話番号：0120-030-045) ←10月30日に開始予定

年収の壁に関する
厚生労働省HPは
こちら



特定地域づくり事業協同組合の認定証交付式が行われました

10月30日(月)に、特定地域づくり事業協同組合の認定証交付式が県庁で行われました。

特定地域づくり事業協同組合制度とは、令和2年6月4日に施行された「地域人口の急減に対処するための特定地域づくり事業の推進に関する法律(人口急減地域特定地域づくり推進法)」により創設された制度です。この制度に認定されることで、労働者派遣事業を届出で実施することができ、併せて、市町村が組合に行う補助(派遣職員の入会費や組合事務局の運営費)に対して、国から財政支援を受けることができます。

認定式には、椎葉村復業協同組合の上野代表理事が出席し、重黒木総合政策部長から認定証が交付されました。

認定証交付後の歓談では、重黒木総合政策部長から「人口減少社会の中で、地域の産業や暮らしを守っていくことが非常に大きな課題となっている。中山間地域の様々な課題の解決に向けて力になることを期待している」との激励の言葉があり、上野代表理事は「組合員と連携しながら、力を合わせ取り組んでいきたい」と話していました。

宮崎県中央会は、特定地域づくり事業協同組合の設立、運営についての相談窓口です。組合定款をはじめ、事業計画や収支予算等の策定支援を行いますので、是非、御相談ください。

■組合の概要

椎葉村復業協同組合

代表理事	上野 諒
地区	椎葉村
事業	労働者派遣事業、移住支援事業
設立認可日	令和5年10月2日
認定日	令和5年10月30日



▲交付式の様子



▲左から上野代表理事、重黒木部長



▲交付後の歓談

宮崎県中央会青年部 第7回「みや the キッズモール」を開催します！

開催日時 令和6年1月14日(日) 10時～16時(受付終了15時30分)

開催場所 宮交シティ3F 紫陽花ホール

開催目的 県内の様々な業界をPRする職業体験ブースの出展イベントを開催することにより、子どもを中心とした若い世代に「地元宮崎にも様々な仕事がある」ことを知ってもらい、将来の地域人材確保・定着支援に繋げることを目的としています。

各業界のプロフェッショナルが、体験ブースを用意しております。
皆さまのご来場をお待ちしております。



組合BCP(事業継続計画)策定に取り組んでいます! —令和5年度組合等活動新展開支援事業—

10月18日(水)に、企業組合介護福祉サービスひばりの会議室において、一般社団法人みやざき公共・協働研究会のBCPアドバイザーである黒岩雄二氏を講師にお招きし、BCP策定研究会を開催しました。

第3回研究会では、「BCPにおける事前対策、初動対応について」

というテーマで、ディスカッションが行われました。そして、第4回以降、複数回の研究会を重ねて、中核事業の抽出・絞り込み、中核事業の業務プロセスの整理、各業務ごとのリスク評価、事前対策内容・災害発生時対応内容の整理等を行い、今年度中にBCPを策定する予定です。

緊急事態(自然災害やパンデミック等)に遭遇したときに、事業資源の損害を最小限にとどめつつ、中核事業の継続あるいは早期復旧を可能とするためにも、BCP策定がより一層進むことが望まれます。



▲ 研究会風景



▲ 黒岩講師

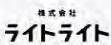
令和5年度組合事業承継セミナーを開催しました

10月20日(金)に、オンライン方式(Zoom)にて、令和5年度組合事業承継セミナーを開催しました。

本セミナーは2部構成で開催し、まず、「組合事務局に知ってもらいたい事業承継のこと」というテーマで、本会の事業承継支援担当指導員から、組合における事業承継の現状及び期待される組合の役割等について提案を行いました。

次に、株式会社ライトライトの代表取締役である齋藤隆太氏より、事業活動の概要から宮崎発の事業承継プラットフォームである“relay”について御講義いただきました。

本セミナーが、参加者である組合並びに組合員の皆様にとりまして、事業承継に取り組む意義・役割等について再認識する機会となつていれば幸いです。

組合各位	令和5年10月20日
組合事務局に知ってもらいたい 事業承継のこと	
<small>宮崎県中小企業団体中央会 統合支援部 主査 増井 一人</small>	
地域に、 光を あてる。 	

都城管工事協同組合が建設キャリアアップシステムの講習会を開催しました

10月25日(水)に、都城市のメインホテルにおいて、都城管工事協同組合が制度改正等の課題解決環境整備事業を活用し、建設キャリアアップシステムの講習会を開催しました。

当日は、「建設キャリアアップシステムの概要と近年の法制度改正内容について」をテーマに、株式会社岡崎組の管理課長兼業務課長でCCUS認定アドバイザーの甲斐徹氏から、建設キャリアアップシステムの目的や登録に当たっての留意事項、また、登録料や利用料などについて詳細な説明があり、その後、システム導入後の入力操作などについて管理画面などを見ながら具体的に解説いただきました。

建設業界において、導入の進む建設キャリアアップシステムに関する講習ということで、参加者の皆さんは熱心に聴講されていました。



▲ 会場風景



▲ 甲斐講師

レディース中央会「全国フォーラムin岡山」が開催されました

11月1日(水)に、岡山県岡山市のホテルグランヴィア岡山において、レディース中央会「全国フォーラム in 岡山」が開催され、全国各地から約280名の女性経営者や中小企業組合等の女性役職員等の方々が参加されました。

今回は「つなぐ～歴史を・価値を・ドラマを次の時代へ～」をテーマに、前半の基調講演では「過去の歴史と明るい未来の結束点としての現在」と題し、公益財団法人大原美術館代表理事の大原あかね氏の講演が行われました。

後半では、ダイヤ精機株式会社代表取締役の諫訪貴子氏による講演と、株式会社リクルートジョブズリサーチセンター長の宇佐川邦子氏をコーディネーターとして、株式会社フジワラテクノアート代表取締役副社長の藤原加奈氏、金田コーポレーション株式会社代表取締役の畠島美緒氏、倉敷ボーリング機工株式会社代表取締役社長の佐古さや香氏、オサカダツール株式会社代表取締役の牧明奈氏の4名のパネラーによるパネルディスカッションが行われました。

フォーラム終了後に開催された交流懇親会では、IPU・環太平洋大学ダンス部による演技や、あちゃらけによる演奏とともに、地域や業種を越えた情報交換が行われ、参加者は大いに盛り上りました。

本フォーラムへの御参加と御協力をいただきました皆さんには心よりお礼申し上げます。



▲会場風景



▲吉田全国レディース中央会会長 挨拶



▲大原講師



▲諫訪講師

全国中小企業青年中央会2023年度組合青年部全国講習会が開催されました

11月10日(金)に、全国中小企業青年中央会2023年度組合青年部全国講習会が、高知市の高知県立県民文化ホールにおいて開催されました。

当日は、株式会社ビスタークス研究所代表取締役社長の大原光泰氏から「人間を育む経営」をテーマに、社員の「やりがい」を育む職場環境等について講演いただきました。

次いで、事務局代表の佐藤雅信氏による「経営力を向上させる事業継続活動」をテーマとした講演、パネルディスカッションが行われ、参加者は事業継続計画(BCP)策定による災害対策や、業務棚卸による経営戦略の重要性等について認識を深めました。



▲会場風景



▲佐藤講師



▲大原講師

宮崎県食品産業協議会が県外視察研修で長野県を訪問しました

宮崎県食品産業協議会では、10月25日（水）～26日（木）に県外視察研修を実施し、長野県の企業3社を訪問しました。

1日目は、「かんてんぱぱ」ブランドで家庭用製品や、業務用製品などを製造・販売している伊那食品工業株式会社（長野県伊那市）を訪問し、取締役会長である井上修氏にご講話いただきました。「社員を幸せにし、社会に貢献すること」を経営理念に掲げるとともに、社員や地域性に配慮した福利厚生制度も有名で、毎年着実に成長する経営に関心を抱く企業も多く、参加者もその取り組み内容に真剣に耳を傾けていました。

2日目は、国内味噌メーカーの中で最新鋭設備を誇り、塩こうじや甘酒等の商品開発も行うハナマルキ株式会社伊那工場（長野県伊那市）を訪問しました。味噌の基礎知識や味噌作りの製造工程について説明を受けたあと、隣接する製造工場へ移り、見学通路から実際の生産ラインを見学し、生産の流れや商品へのこだわり、品質管理等について説明を受け、参加者も製造工程や商品の成分等について積極的に質問し、更に理解を深めることができました。

次に、ウイスキーの蒸留のほか、ワインや梅酒などの生産でも知られるマルス信州蒸溜所（長野県上伊那郡）を訪問しました。2020年9月に蒸留設備や原酒の貯蔵庫を一新するなど大幅なリニューアルが行われ、全ての製造工程がひとつの建物内に集約されており、蒸留や発酵の工程を見学することができました。

普段、なかなか訪問する機会のない県外企業の工場内部や店舗等を見学し、各企業の経営姿勢を直接学ぶことができる良い機会となり、参加者にとって大変有意義な研修となりました。



▲伊那食品工業(株) 研修風景



▲伊那食品工業(株) 井上会長と参加者の皆さま



▲マルス信州蒸溜所



▲ハナマルキ(株) 伊那工場敷地内にあるみそ作り体験館



▲ハナマルキ(株) 研修風景

《中央会行事予定》

宮崎県レディース中央会研修会

開催日:令和5年12月12日(火)
開催場所:宮崎市「ホテルALシティ宮崎」

第7回みやthe キッズモール

開催日:令和6年1月14日(日)
開催場所:宮崎市「宮交シティ3F紫陽花ホール」

中央会新春交流会

開催日:令和6年1月17日(水)
開催場所:宮崎市「ニューウエルシティ宮崎」

宮崎県官公需適格組合協議会研修会

開催日:令和6年2月20日(火)
開催場所:宮崎市「ホテルひまわり荘」



表紙紹介

アウトドアアクティビティのまち「えびの」

えびの市は宮崎県の南西部に位置し宮崎県、鹿児島県、熊本県の県境にあります。

北部には九州山地、南部には霧島連山、平野部には川内川が流れる自然豊かなまちです。この自然から生まれた良質な水と肥沃な土地から農作物の栽培や牛・豚・鶏の飼育が盛んに行われています。

また、えびの市はアウトドアシティとしてえびの市の自然豊かな地形を活かし、四季折々の景色とともにアウトドアアクティビティ(トレッキング、SUP、サイクリング、キャンプ、カヌー)を体験できるまちでもあります。

表紙の写真は霧島連山が一望できる矢岳高原からの景色です。矢岳高原からの景色は日本三大車窓にも選ばれ、天気が良ければ桜島や開聞岳、気象状況があれば雲海を見ることができます。えびの高原からとはまた違ったえびのの景色を楽しめる場所で、サイクリングスポットとしてもおすすめです。

アウトドアアクティビティで体を動かした後は、京町温泉郷や白鳥温泉、吉田温泉郷などえびのの温泉で日頃の心身の疲れを癒してリフレッシュしてみてはいかがでしょうか。



ほつとひと息

農繁期も一段落した為、つい先日、久々映画館に足を運び、いま話題作の「ミステリと言う勿れ」という映画を鑑賞してきました。

ミステリのようでミステリでない新しい感覚のミステリで、遺産相続をめぐる殺人事件を、変わり者の大学生(主演:菅田将暉)がひたすら喋りまくって、巻き込まれた事件の謎を解きほぐしていく内容で、この年になると話の展開の速さについていけないところも多々ありましたが、中でも次のような数々の名言が心に残りました。

都城管工事協同組合
理事兼事務局長 中原 祐一



「真実は人の数だけある」「子供って乾く前のセメントみたいで、落としたものの形がそのまま残る」。

なかでも特に次の言葉が心に響きました。

「本当に下手な時は自分が下手なことに気づかない、気づくのは上達してきた時、だから下手だと思った時こそ延び時」

私もゴルフがとことん下手で、諦めかけていましたが、この言葉を信じ、もう少し努力してみようという気持ちになりました。

(宮崎県中小企業組合事務局連絡協議会 理事)

情報連絡員報告



情報連絡員 30名 / 回答者数 30名

全体概況 DI値は、前月と比較して、売上高は4ポイント改善、収益状況は20ポイント改善、業界景況は不变となった。

【前年同月比の業界の景気動向】

(DI値)

業種	項目	売 上 高	収益状況	業界景況
製造業	食料品	☂	☂	☂
	木材・木製品	▼	▼	☂
	出版・印刷	☁	☂	☂
	窯業・土石	☁	☀	☂
	鉄鋼・金属	☀	☂	☁
非製造業	卸 売	☂	☂	☂
	小 売	☂	☂	☂
	商 店 街	☀	☀	☁
	サ ー ビ ス	☁	▼	☂
	建 設	▼	☁	☁
運 輸	運 輸	☂	☂	☁

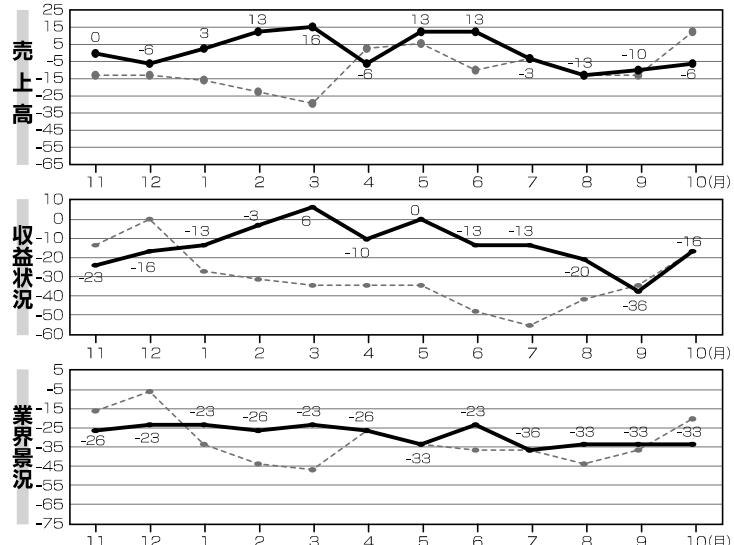
☀ 30以上 ☁ 10~30未満 ☬ -10~10未満 ▼ -30~ -10未満 ☂ -30未満

※網掛けについては、特に悪化した項目。※DI値=[(増加・好転組合数-減少・悪化組合数)÷調査対象組合数]×100

【主要3指標DI値推移】

令和3年11月～令和4年10月

令和4年11月～令和5年10月



木材・木製品

製材業 原木の相場は、秋の記念市シーズン到来も出材量は伸びず、製品の荷動きの回復がない中で、無いもの欲しさによる高値維持の状況。いわゆる需要なき価格維持の様相を呈している。製品も国産材を中心に依然として荷動きが鈍く、これから先の実需が全く見通せない情勢である。

製材業(プレカット) 10月の加工実績は前年比130%で、昨年の実績が悪いこともあり、かなり伸びたように見える。住宅の着工が少ない中で、10月にいくらか集中したことが原因と思われる。11月以降は着工数がまた減少する傾向が見られる。非住宅は年明けまで忙しい状況が続くが、住宅については安定した低空飛行になると考えている。

木製品製造業 原材料価格の高騰と物価高による経費の上昇、人件費増加により、収益の増加につながらない状態である。

印 刷

印刷・同関連業 人材確保が最優先だが、募集をかけても応募がない状態である。賃金を上げるにも限界がある。「仕事のやりがい」について理解してもらう手立てを考えている。

印刷・同関連業 9～10月は売上げが前月比、前年度比ともに低調だった事業所が多く、年末の繁忙期を前に不安が残るところである。経営状況は依然、高騰する原材料費に利益を圧迫されている状態で、相変わらず厳しい状況である。

窯業・土石製品

窯業・土石製品製造業 10月単月の出荷数量として昨年比56%、昨年度民間物件の特需もあったが大幅減となった。見通しどりの数字であるが、実際目の当たりにすると組合員の厳しさが目に浮かぶ。3月までにどれだけ積み上げられるか、組合員のために少しでも利益を上げたいところである。

窯業・土石製品製造業 昨年、一昨年が非常に低い数字で着地したため、今期が例年通りであっても非常に上伸したように感じる。昨年が962m³、今期が1,622m³と昨年対比は168%になるが、通常よりも出荷数量は減少している。

卸 売 業

卸商業 インボイス制度導入による事務処理の増加を理由に、送金手数料の負担要請が増えている。送金手数料で年間100万円程利益の押し下げ要因になってくる。また、インボイス対応でコンピューターシステム変更などにも100万円以上かかった。軽減税率の恩恵は分かりにくいが、弊害を実感する。税利を複雑にしただけ。

小売業

小売商業 一度は安定してきた青果物の価格上昇が続いている。その他の商品も値上がりが続き、さらに最低賃金も上り、利益がでない店があるようだ。

石油販売業 石油製品価格に対する国の補助金が継続されたことにより、販売価格が引き下げられ、需要の回復を期待したいが、行き過ぎた値下げによるマージン低下が懸念される。

LPG小売販売業 10月合成CP価格(サウジ通告価格)は575円/㍑(前月比+65.0円/㍑)。9月MB価格(米国産平均価格)+
(物流経費84円/㍑)は468円/㍑(前月比+33円/㍑)。対顧客電信売相場(9月平均)は148.73円/㍑(前月比+2.89円/㍑)。サウジ、ロシアの供給制限が12月まで継続することが決定したことや国際エネルギー機関が「年末にかけて大幅な供給不足が続く」と指摘したことにより原油価格が上昇し、LPG価格も3か月連続で上昇した。

商店街

宮崎市 祭りやイベント等が行われても、その効果が物販店に及ばない。

都城市 コロナの影響がほとんどなくなり、燃料など高騰している中少しは売上げの増加がみられたが、インボイス制度の開始による混乱が多々みられた。数年前より講習会や説明会などに参加し理解を深めたつもりだが、実際に始まると曖昧なことが多い感じが受けられた。これはまだまだ混乱しそうな気がする。それに納税業者と旧免税業者の差は大きく、今後の取引きに大いに影響しそうである。

サービス業

観光業 10月は鹿児島で国体が行われ、観光バスはワンマンバスでの運行が多かったので、バスガイド業としての仕事は昨年度同月と比べると少なかった。その代わり11月、12月の予約状況が好調なので、健康管理、感染症対策を講じて秋のシーズンに備えたい。

自動車整備業 今月も車検入庫台数が前年比約20%増。組合員工場の従業員不足の影響が出てきている。今月末で従業員が退職する工場があるとも聞いている。組合員工場の整備士確保がなかなか出来ない状況が続いている。

自動車運転代行業 閑散期に入り、街の人出は減少傾向にあり、需要は少なくなっている。11月半ばからの忘年会等に期待している。

建設業

管工事業 中間決算期を迎え、公共工事では本管工事は前年同期比ほぼ横ばい、修繕業務等はやや減少。民間工事は堅調に推移。損益では人件費、原材料費等の増加により収益率は低下している。

管工事業 公共工事においての工事発注は順調に伸びているが、民間の住宅着工件数が減少の傾向にある。

運輸業

軽貨物運送業 高齢化の影響がもろに響いている。仕事量があっても配車が困難な状況であり、売上げを減少させながらの経営である。燃料高騰は高値で推移し、組合員さんの経営を圧迫しているのが現状である。他の事業者も同様であり解決策がないので苦しい経営環境が続いている。

貨物運送業 中東情勢の緊迫化などを受け原油価格は上昇基調で推移している一方、国内では企業の経済活動や国民生活の負担軽減、冬に向けた寒冷地での灯油需要量の拡大に対応するため、来春まで補助金が延長されることが決定されるなど価格が調整され小幅に上昇する見込みであり、組合員の経営不安は増大している。



中央会だよりに関するお問合せ

「中央会だより」では、県内中小企業組合の皆様の活動をPRするため、イベント情報や各種研修会・講習会等の開催情報を募集しております。お申込み・御相談をお聞かせください。

 宮崎県中小企業団体中央会

〒880-0013 宮崎市松橋2丁目4番31号 宮崎県中小企業会館3F

[発行人] 堀之内 芳久 [編集人] 野口 和彦
[TEL] 0985-24-4278 [FAX] 0985-27-3672
[URL] <http://www.himuka.or.jp> [E-mail] info@himuka.or.jp

太陽ビジネスクラブセミナー

次世代塾 第9期生募集！

事業承継・後継者育成

これまで「234名」が受講した人気のセミナーです。

県内の経営者、後継者等を対象に「次世代塾」を開催いたします。後継者に求められる「経営力」の基本と応用、実践演習を交えながら学んで頂き、異業種間の交流も喜ばれています。

- 日 時 日程 2023年6月より全12回を実施予定
時 間 10:00~17:00 (毎月1回開催)
- 場 所 宮崎太陽銀行 本店2F 大会議室
(宮崎市広島2丁目1番31号)
- 対 象 者 企業の後継者、新経営者、経営陣、経営幹部
- 募集定員 30名 (1社3名様までとさせていただきます。)
- 主 催 (株)宮崎太陽銀行 太陽ビジネスクラブ
- 問合せ先 (株)宮崎太陽銀行
営業統括部 TBC事務局
TEL:0985-60-6393

テーマ

各テーマを各3回ずつ全12回

経営編(全3回) ~リーダーシップとマネジメント~

戦略計画編(全3回) ~戦略思考と計画力~

人材組織編(全3回) ~組織形成と人材育成~

財務計数編(全3回) ~計数感覚と収益構造~

(詳細はTBC事務局までご連絡ください)

受講料

TBC会員 12,000円 1テーマ／3,000円

非会員 36,000円 1テーマ／9,000円



ご案内

元受団体：全日本火災共済協同組合連合会 〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町2-11-2

自動車総合共済 MAP

最初に入った自動車保険(共済)そのまま継続していませんか?

自動車保険(共済)を見直してみませんか?



相互扶助による非営利の共済制度です!

中小企業・個人事業主の皆さんに大変ご好評を頂いております!

現在ご加入中の保険証券(共済証書)をお見せください!

非営利の共済制度で納得安心な自動車総合共済MAPをご案内いたします。



お問合せは宮崎県火災共済協同組合まで!

TEL: 0985-24-1424 FAX: 0985-23-9001

万一事故に遭われても翌年以降の掛金負担増を軽減

事故有等級制度を導入していません!

非営利の共済団体だから

納得の掛金

わかりやすい掛け金料率制度
お車の使用目的別の区分なし
被共済者年齢別の区分なし

独自の見舞金制度
対人・対物見舞金

全車種24時間365日対応
ロードサービス
(ロードアシスタンス特約)
提携業者: 株式会社プライムアシスタンス

2022.12

このチラシは自動車総合共済MAPの概要について記載したご案内文書です。
詳細につきましては、上記までお問い合わせください。

大樹生命保険株式会社 生命保険団体扱オーナーズプランのご案内 大樹生命

BESTパートナー



「経営者のリスクマネジメント」を目的に
組合員がご契約者となる生命保険契約です。

Owner's Plan

宮崎県中小企業団体中央会が事前に認めた会員組合に所属する組合員がご契約者の場合、団体扱となり、一般扱(口座振替扱月払等)よりも
割安な保険料でご契約いただけます。

* 団体扱とは、宮崎県中小企業団体中央会が団体扱としてお申し込みいただいた各保険契約の保険料を取りまとめ、一括して当社へ払い込む取り扱いのことです。

* 一部対象とならない商品・契約がございます。

※ 詳しくは、「商品パンフレット」をご覧ください。ご検討にあたっては、「設計書(契約概要)」「特に重要な事項のご説明(注意喚起情報)」「ご契約のしおりー約款」を必ずご覧ください。

お取り扱いの詳細は、下記までお問い合わせください。

よりそ う 保 険。



無配当保障セレクト保険

あなたにぴったりな保障を自由にセレクト!

詳しくは、「商品パンフレット」をご覧ください。ご検討にあたっては、「設計書(契約概要)」「特に重要な事項のご説明(注意喚起情報)」「ご契約のしおりー約款」を必ずご覧ください。

オーナーズプランは、上記以外の商品もお取り扱いしています。詳しくは下記までお問い合わせください。

大樹生命保険株式会社 宮崎営業部

〒880-0805 宮崎県宮崎市橋通東3-1-47 宮崎プレジデントビル8F TEL:0985-27-1133
<https://www.taiju-life.co.jp/>

R-2021-1007 (2021.10)

商工中金の 中小企業組合支援

個々の企業では解決できないさまざまな課題に、連携して対応する中小企業組合。商工中金は、1936年の設立以来、一貫して組合・組合員の価値向上に取り組んでいます。これまでも、これからも、商工中金は、組合運営のフォローや補助金等の情報提供、ご融資を通じて、組合が手がけるさまざまな共同事業の円滑な発展をサポートしていきます。

商工中金は、経営の総合支援パートナーへ。



宮崎支店 0985(24)1711 〒880-0811 宮崎市錦町1-10 ●JR宮崎駅西口(KITEN 1F)
<https://www.shokochukin.co.jp/>

令和5年1月10日発行 発行所 宮崎県中小企業団体中央会
企画・デザイン・印刷 富崎紙工印刷(株) 電話(090-9144-4213)
富崎市松橋2丁目4番1号(宮崎県中小企業団体中央会)
富崎市大字赤江字飛江田3番地 電話(090-9144-4213)
発行人 堀之内 芳久 編集人 野口 和彦 定価 800円
電話(090-9144-4213)